



平成 22 年 3 月 26 日

各 位

会 社 名 ヘリオス テクノ ホールディング株式会社
代表者名 代表取締役社長 田原 廣 哉
(コード番号 6927 東証 1 部・JASDAQ)
問合せ先 取締役統括管理部長 川坂 陽 一
(TEL 079-263-9500)

平成 22 年 3 月期通期の業績予想の修正
および特別損失（クレーム補償費用）の計上に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 3 月期連結会計期間において、特別損失の計上、また平成 21 年 11 月 6 日に公表した平成 22 年 3 月期通期業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

1. 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想(A) (平成 21 年 11 月 6 日発表)	11,393	△15	24	△60
今 回 発 表 予 想(B)	10,480	△215	△108	△398
増 減 額(B-A)	△912	△200	△132	△338
増 減 率(%)	△8.0	—	—	—
(御参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	6,113	△240	△237	△947

2. 特別損失の内容

第 4 四半期連結会計期間における「ランプ事業」におきまして、プロジェクター用ランプの特定の品種で不具合が発生しました。その為、同製品の市場からの回収を行った結果、特別損失 95 百万円を計上することとなりました。

3. 業績予想修正の理由

日本技術センター株式会社の「産業機器事業」で、予定していた検査機器の受注が遅れ、前回発表しました売上見込において 700 百万円下回り、その為、経常損益は 120 百万円下回る見込みとなりました。

また、日本技術センター株式会社の繰延税金資産について、同社を取り巻く環境が依然厳しく、繰延税金資産の回収可能性の判断に関する監査上の取扱い（監査委員会報告第 66 号）に従い、再度検討を加えた結果、繰延税金資産のすべてを取り崩すこととしたため、法人税等調整額(税金費用)を 98 百万円計上することとしました。

これらの結果、通期の連結売上高は 10,480 百万円、同営業損失 215 百万円、同経常損失は 108 百万円、同当期純損失は 398 百万円となる見通しです。

注) 上記業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績は様々な要因により、予想数値と異なる場合がございます。

以 上